



とほろ布議会だより

発行 鳥羽市議会 平成27年2月1日

第130号



13組のカツグルが誕生♡
海辺のまち鳥羽での出逢い

第4回 定例会 (12月2日～12月18日)

一般質問

年4回の定例会と臨時会の本会議を録画放送

新型インフルエンザ対策は

市長

子育て支援の観点からの対策を

国立感染症研究所によれば、当初懸念された強毒性ではないものの、乳幼児や高齢者を中心に非常に高い入院、死亡率が続いています。予防接種や費用減免について本市の対策は。

を助成したいところですが、「子育て支援」の観点から、妊婦や中学生以下の子ども等を優先したく、接種1回1000円助成を上げました。

市長・健康福祉課副参事

地域の行政組織や医療機関との連携体制を密にするため、伊勢保健所が中心となり広域対策を行っています。

費用減免については、優先接種対象の方々全て



坂倉 紀男

農政としての害獣対策の徹底は

農水商工課長

多方向から守る対策を



害獣対策のネット

この地方においては猪、鹿、猿の生息域の拡大が農林作物に与える被害及び人家周辺への出没で、農山村地域では社会問題にすらなっており、農林作物の保護と害獣の適正管理について聞きます。

農水商工課長 農林作物の保護は、電気柵、ネットなどが一般的ですが、隣接林の刈り込みによる「里山の再造成」、「自然林の受光伐」、すでに事業化されている「森林環境創造事業」などで、鳥獣との住み分けを目指すことも補助事業化されています。

また、銃猟、わな猟等による害獣駆除も委託事業として確立されており、多方向からの対策が効果を生みます。

松尾清掃センターの安全閉鎖は

市長 住民合意で進めます

松尾町への一般廃棄物処分場建設の際、地元と市との約束文書があります。町民は守られると信じて30年を我慢してきました。約束履行は行政と議会双方に責任があると考えますが、市長の見解を伺います。

市長 議員の言われたことはまさにその通りだと思っております。

映はどうか進んでいますか。環境課長 詳細調査費を計上いたします。

私は鹿児島県川辺町、

亀山市、志摩市大王町を視察しました。安全閉鎖先進地へ職員と地元住民を派遣して頂きたい。集中して取り組む「特命チーム」発足も提案します。

市長 しつかり調査した



松尾清掃センター

い。体制についてはいい方法があれば実行したい。

臨時・嘱託職員の格差是正を 総務課長 年収で5万円アップする

保育士、図書館司書など正職員同様に働きなが

ら同一労働同一賃金になっていません。格差をどう是正しますか。

総務課長 来年度当初予算で改善します。臨時職員の年収は5万6000円増、嘱託職員は10年後で最大40万円増にします。



戸上 幸子

台風18号の災害対応は

総務課長 防災無線に不備がありました

議会報告会&意見交換会において、台風18号の問題点として、防災行政無線が機能していない、聞こえない、情報不足だ、中部電力との連携はどうなっているのか、また、避難勧告等の指示が出なかつた等の意見や苦情がありました。なぜ今回このような事になったのかを聞きます。

総務課長 防災無線の局は、近くの電線から電気を引いており、今回台風18号による長時間の停電により、電気が使用できず、平成9年度に設置した子局のバッテリーの容量不足により機能しなかつたものです。

防災行政無線が活用できずに市民の皆様には、大変ご迷惑をお掛けしま

した。なお、今回の12月補正予算でバッテリーの交換、45基分を計上させて頂いています。

なぜ、毎年定期点検を行なっているのに、今回のような事態は予測できなかったのですか。

総務課長 平成20年度に定期点検で指摘を受け、これを年次計画でバッテリー交換を予定していたため、予測できたにもかかわらず、今回のような結果を招きました。

なお、バッテリーが新品になつても、今回のように長時間の停電となれば、24時間程度で防災行政無線は使えなくなりま



木下 順一



防災行政無線

アレルギー対策への取り組みは

教育長 対応をしっかりとしていきたいです

平成19年4月、文部科学省がアレルギー疾患に関する調査研究報告書を発表し、学校のクラスにアレルギー疾患の子どもがいるという前提に立った学校の取り組みが必要との認識が示されました。

教育長 平成20年3月に学校のアレルギー疾患に対する取り組み、ガイドラインが発行されています。就学時の健康診断及び入学説明会の機会に、アレルギー疾患を有する児童を把握するとともに、管理指導表を作成し、全教員が共通理解を図ります。

アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、ぜん息、食物アレルギー等がありますが、発症予防や防止するための研修の考えはありますか。

教育長 学校保健会、養護部会、給食の担当者会議等で情報交換等、研修会を実施します。

「すべての児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを指して」との項目があり、アレルギー疾患患者の中には、緊急時の対応、学校生活で求められる配

学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）



坂倉 広子

自主・独立性のある教育行政を 教育長 活動内容の活性を図っていきたい

教育基本法の改正に伴い、平成20年には新学習指導要領が発表されました。学校教育の信頼確立、家庭教育の回復、公共心の育成、伝統文化の尊重と郷土愛、愛国心の醸成等、新たな教育方針が示されました。一方、今の教育現場には様々な問題があり、本市の教育委員会としても、その解決にどう取り組んでいくのか、次の点について聞きます。

教育長 学校現場の多忙感もあり、多種多様な要望への対応や、いじめ等が課題となります。実状の一部の学級等で厳しい状況にある学校があります。全国的にも低いと言われる市内小中学校の学力の向上策は。

教育長 生徒間の学力格差が広がっており、教職員が意思統一して学力向上に向け、取り組むよう指導していきたい。

各学校単位の教育力は確保されているのか。

教育長 重要課題であり、人材確保も含め、人事バランスについては、年齢構成、男女比、免許構成を考えねばならず、本市の中学校については大きな問題となっています。



村山 俊幸



教育委員会事務局

議案質疑

3人が質疑

寺本春夫

本市の地球温暖化対策は

教委総務課長 市立図書館の改修を行います

図書館に対しどのような工事を行いますか。

教委総務課長 工事の内容としては、屋根に太陽光発電設備を設置し、館内の照明器具を蛍光灯から省エネ効果の高いLEDの照明灯に交換します。そして、館内のビル用マルチエアコン1系統とクーラー式エアコン4系統の空調設備を省エネ効果の高いものに取りかえます。

どのような効果が出るのですか。

教委総務課長 年間使用電力の約60%、金額にすると144万円分の節約が見込まれます。CO₂に換算しますと年間約37トンの温室効果ガスの排出削減が期待できます。

戸上幸子

除細動器予算計上の理由は何か

消防長 1台が使用不能状態

鳥羽市の救急用除細動器は何台ありますか。

消防長 3台です。

除細動器が作動せず救急搬送中の患者が死亡する事故が起きました。日本光電工業が輸入販売した機種です。鳥羽市の機種は該当しますか。消防長 使用不能になっている機種が日本光電工業のもので、予算計上している機種の選定はどうしますか。

消防長 2社しかメーカーがありません。どちらかになります。

日本光電工業の除細動器は各学校などにある簡易AEDも10万7000台を点検修理中です。きちんと作動するチェックを指摘します。

松井一弥

鳥羽志勢広域連合の負担金割合は

市長 以前の計画よりも増額になります

この協議については、ごみ処理について南伊勢町が抜けたことによる見直しと思いますが、先般、南伊勢町長が変わり、情勢はどのようになっていると理解していますか。

市長 このごみ処理に関しては、南伊勢町が離脱し、現在は鳥羽市と志摩市で進めていくという状況になっております。し尿処理場にしても、ごみ処理場にしても、利用した分を負担するというのが、やはり一番公平ではないかということから、今回のような負担割合がより公平だろうということで、提案させていただいたということです。

チケット体制の確立を

総務民生委員会

総務民生委員会で審査した主な内容は、次のとおりです。

(議案第81号平成21年度

鳥羽市一般会計補正予算

(第6号歳入・県支出金)

問 ふるさと雇用再生特別基金事業補助金はどのようなものなのか。

答 新規雇用を図り、伊勢神宮の式年遷宮対策旅行商品開発事業を実施す

る補助金である。

問 負担金補助金の市開発公社職員派遣人件費の内容はどのようなものなのか。また、市開発公社の赤字が増えている。経営自体を見直す必要があるのではないか。

答 市開発公社職員の人件費を集中改革プランや経営悪化のため、今まで

80%で負担していた。今回、市開発公社の運営を強化していくため、100%の負担とした。市開発公社職員が減ってきている中で、運営に関して整理していく必要がある。

問 全国瞬時警報システム(ジェイアラート)改修工事の内容はどのようなものなのか。

答 国の消防庁から国民保護関係で音声と信号を受け取り、鳥羽市の防災行政無線から発声する装

置の改修工事である。
(歳出・民生費)

国民健康保険事業特別会計繰出金について、担当課長から当初予算に計上していた金額に誤りがあり、今回の補正予算で実際の金額との差額を計上したと説明があり、委員から当初予算に計上した金額に誤りがあったことに対して厳しい指摘があった。担当課からの資料提出を求め、なぜ、このような事が起こったのか、チェック体制の確立など再発防止するよう求める意見が出された。

(歳出・衛生費)

問 新型インフルエンザワクチン接種について、補助の申請方法はどのように行うのか。

答 新型インフルエンザワクチン接種については、まず、かかりつけの医療機関に予約を行ってから、予防接種をしていただく。

医療機関窓口で接種費用を支払い、接種済証明書が発行される。その後、健康福祉課または各連絡所の窓口で必要書類を添えて申請手続きを行っていただき、接種費用の払い戻しを受け取る事になる。

(議案第82号平成21年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号))

問 支払基金造成基金積立金預託金利子については、どのようなものなのか。

答 国保連合会に診療報酬等支払基金造成基金積立金をしてきた。基金本来の役目を果たしたので今回廃止をする。預託金に対する利子である。

事業系ごみの減量化推進を

文教産業委員会

文教産業委員会で審査した主な内容は、次のとおりです。

(議案第81号 平成21年度鳥羽市一般会計補正予算(第6号) 歳出・商工費)

問 松尾第2期工業団地造成に係る資金借入利息について、今年は増額予算になっているが、金利上昇によるものか。

答 開発公社が入札を実施し、3社のうちの1社が1・475%の金利で落札した。金利の動向にもよるが、今後さらにも上昇する可能性もある。(議案第84号 平成21年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算(第3号))

問 若い船員が退職するということや、船員の病休等で時間外勤務手当が増えているということであるが、現状で人が足り

ているのか。

答 2勤2休で予備船員もいない中、3名体制で乗船しており、今年は病休も多かった。甲板員の臨時船員を募集したが年齢制限があり、採用にいたっていない。

(議案第89号 鳥羽志勢広域連合規約の変更に關する協議について)

問 ごみ処理費の管理運営費が全て利用割になるが、ごみは減少しているのか。

答 平成18年度から可燃ごみを有料化して、家庭系ごみは10%以上減少したが、事業系ごみが減りにくい。本市は県下で一人当たりのごみ排出量が一番多く、利用割になると負担金は増えてくるので、もっと厳しく減量化したい。

マリントウン21特別委員会視察

マリントウン21特別委員会は、次のとおり視察を実施しました。

視察日

平成21年11月19日～20日

視察先

静岡県沼津市

「沼津港振興対策について」

静岡県熱海市

「親水公園について」

参加者 マリントウン21特別委員6名、建設課職員、議会事務局書記



マリントウン21特別委員会行政視察

人事

固定資産評価審査委員会委員選任に同意
上村昌芳氏(河内町)
(再任)

請願

《採択》

○離島架橋の早期実現に関する請願

追跡! あの意見どうなったん?

「議会報告会&意見交換会」における「市民意見」へ回答します。



市役所（行政）に対する意見と回答

道路補修など、優先順位の決め方は。市民の要望を聞いて優先順位を決めることが大事。

⇒ 【総務課】 町内会等からの意見を優先し取り組んでいきます。

⇒ 【建設課】 町内会で優先順位を決めて頂いたうえで調整を行いますが、緊急性のあるものについては先行します。

台風18号における問題点→情報不足等～停電。公共の大事な電話が繋がらない。防災無線が使えなかった。危機管理体制づくりを。

⇒ 【総務課】 防災行政無線の点検・整備を計画的に実施し、災害時における積極的な情報提供に努めます。中部電力等に対しては、伊勢志摩地域全体の問題として県を通じて連携強化を図っていきます。

定期船（16:45佐田浜発）→答志・桃取同時発着の改正を。

⇒ 【定期船課】 平成22年度ダイヤで改正いたします。

定期船ダイヤ改正で大変不便になった→9:30坂手発では中之郷への連絡がない、7:55佐田浜発も同じ。19:05坂手発は空船で中之郷へいく。ダイヤ改正の周知が不十分。

⇒ 【定期船課】 運航効率を高めるため他の航路からの寄港を図ったことによるものです。今回のご意見を定期船ダイヤ改正の参考にいたします。

（菅島行き）14～17時定期船ダイヤがない、充実を。

⇒ 【定期船課】 増便については運航経費の増額になるため、国、県からも値上げを含めた経営改善を強く指導されていますことから、ダイヤ編成による検討をしていることをご理解いただきたい。

定期船とバスの時間帯が合わない（かもめバスとの連携を）。（桃取）

⇒ 【定期船課】 かもめバスの運行については、地域公共交通総合連携計画のもと3年間の実証実験運行中であり、連携性についてさらに検討して今回のご意見を定期船・バスダイヤ改正の参考意見にいたします

「高速船」を造って運賃を上げたか。

⇒ 【定期船課】値上げはしていませんが、国・県からも強く指導されておりますので、離島住民の理解が得られれば、実施をしていきたいと考えております。

「かもめバス」について→雨の日に通学の子どもたちが乗れない。通学時間帯のバスの大型化を。（坂手・菅島）

⇒ 【定期船課】三重交通へ支払うバスの年間委託料は増加の一途であり、少しでも支出を抑えるため、8台のうち4台を小型化にし、長距離路線の国崎や石鏡方面へ運行しております。現在、三重交通に配車の調整により可能かどうか依頼検討しているところです。

「かもめバス」停を体育館前にも。バス停を小浜漁協前へ。

⇒ 【定期船課】バス運行路線については国への認可が必要となることから、三重交通と協議をしており一部路線変更による運転が可能であるか検討しているところです。小浜漁協へのバス停設置については、漁港整備の関係課と協議しながら移転にかかる問題について検討をしていきます。

「かもめバス」と電車の連絡が悪い。「かもめバス」の運行→以前は7:45で商船学校に行けたのに、不便になった。（国崎・相差）

⇒ 【定期船課】鉄道との連携においては、松尾駅と鳥羽駅の両駅の乗換えを考慮しているため、時間によりいずれかの駅で不便をおかけすることになりますが、全体の交通連携にご理解をお願いします。

「かもめバス」の回数券を漁協でも買えるように。

⇒ 【定期船課】現在、本土の市連絡所やショッピングセンターハローにおいて取り扱いしており、鳥羽磯部漁協にも協力いただけるよう要請をかけています。

定期船・バス料金に対して（高校生への）通学補助を。

⇒ 【定期船課】定期船の通学定期については通常より割引率が高く、国から値上げを含めた経営改善を強く指導されていることから、さらに割引率をあげるのは困難な状況です。バスの通学定期については、10月1日運行開始のかもめバスから大幅な割引をさせていただきます。

バス運賃の老人（70歳以上）無料に。定期船代の老人補助を。

⇒ 【定期船課】バスの運賃についてはかもめバス回数券（ハッピーチケット）をご利用いただくことで100円の割引を実施しておりますのでご利用下さい。70歳以上の高齢者の方のご利用に対しては、今後老人福祉施策での検討が必要と考えます。定期航路においても定期航路事業の経営健全化が求められているため、老人福祉施策での検討が必要と考えます。

市主導で弱者、老人を対象に「避難訓練」をやってほしい。（坂手）

⇒ 【総務課】市内では、各自主防災会主催の避難訓練の中で実施しており、災害時要援護者台帳の整備も進めながら、町や地域での訓練等に協力して進めている状況です。

鳥羽市の活性化について～「鳥羽の魚はうまい！」→鳥羽市には村おこし・町おこしの熱意が感じられない。

- ⇒ 【企画財政課】 地域おこしには地元住民の発案・熱意・行動が不可欠であり、行政としては活動の側面的支援を行っていく中で、地元住民との協働によるまちづくりを進めてまいります。
- ⇒ 【観光課】 鳥羽の魚はもちろん、鳥羽には魅力的な食材が豊富にあり、平成21年度からの鳥羽市観光基本計画アクションプログラムにおいても、「食」の魅力充実・開発に取り組んでいます。とばーがーを始め、鳥羽弁当や、宿泊施設の朝食の充実にも取り組んでいきます。

鳥羽市の活性化について→「おかげ横丁」のようなまちづくりを(観光での町づくりを)。

- ⇒ 【企画財政課】 本市においては、『伊勢と志摩の国境の川、妙慶川を中心とする歴史回遊軸と離島文化の拠点となる新たな港づくりの整備』を目的に、様々な事業に取り組んできました。今後さらに回遊性を向上させるべく、住民の参画を得ながら協働でまちづくりを進めてまいります。
- ⇒ 【観光課】 おかげ横丁の例は、近隣にあるまち歩き成功例として大変参考になります。観光課では、少しずつですが、休憩所ボランティアネットワーク事業として、休憩施設を設置したり、「ちょこ得まち歩き」マップを作成し、大変好評を博しています。
- ⇒ 【建設課】 鳥羽の顔にあたる鳥羽駅周辺地区の賑わいを取り戻したいため、歴史・文化・自然環境等を活かしたまちづくりを目指して、平成17年度から住民と行政と協働の会議である「とばみなとまちづくり市民協議会」を立ち上げて、月1回ペースで実施しています。

(特に若い人の…)「働く場所がない」→「雇用対策を！」

- ⇒ 【農水商工課】 働く場がないと言うよりも地元産業についての意識が薄れている若者が多いことから、「若者と中小企業のネットワーク構築事業」により学生が在学中に企業等で一定期間就業体験行う教育制度(インターンシップ)を実施し、地域の若者が地域産業・地場産業への理解を深め、地域で就職するための事業を促進しています。

「人口減対策」→(若者の働く場がない)→「婚活」援助→市が土地を購入してでも「住宅団地」をつくり、低廉価格で提供しては。

- ⇒ 【企画財政課】 現在、市では空き家情報のとりまとめを一部地域にて調査しています。また、本年度より市が事業主体となって、市内の未婚男性と市外の女性との出会い事業にも取り組んでいます。
- ⇒ 【農水商工課】 新たな企業誘致の取り組みは現況の経済情勢では困難です。他の対策として、若者が地域内で就職するためにも、地場産業の良さを知っていただくインターンシップ教育の拡充が重要と考えています。

市債(120億円)の返済はどのようにしていくのか(返済スケジュールは)。

- ⇒ 【企画財政課】 公共施設等の整備にかかる費用の財源として、市債の借入れを行います。その償還期間は、借入れした公共施設等の耐用年数に応じて決定されます。市債の償還についてはその一部が地方交付税として参入されるもの、特定財源で賄われるものなどがあります。実質公債比率は10.8%で適正となっておりますが、今後の市債の発行を抑制しながら財政の健全化を図っていきます。

・マリントウン事業について「中之郷の利便性の確保を」。

・「マリントーミナル」は必要なのか→費用対効果ははじいているのか。緑地公園は無駄では…。

⇒ 【定期船課】定期航路事業の赤字解消のため、佐田浜マリントーミナルの供用開始と同時に市営定期航路の主基地化を図り、中之郷での荷物取り扱いを佐田浜棧橋に移す計画ですが、中之郷棧橋については便数調整を行い、佐田浜棧橋での乗り継ぎを可能にして利便性の確保をする事としています。

⇒ 【建設課】海の玄関口として整備されるマリントウン21事業の中で、船や港を利用する観光客・離島住民にとっての交流や待合の場としてマリントーミナルは必要な建物であり、費用対効果も十分にあると考えています。1期工で施工された先端部分の緑地公園はターミナルと一体となって、地域住民や観光客の集い、楽しみ、憩いのある魅力的な空間づくりとして計画しています。

・市の財政を考えた「箱もの」建設を。費用対効果も考えてのマリントウン事業に。

・「マリントウン事業」もハツ場ダム同様に中止しては。

⇒ 【建設課】マリントウン21事業の計画は、昭和61年から計画が始まったものであり、23年経過し社会情勢・鳥羽市の財政状況等も変化しています。平成23年4月に開港し、第1期工が完成する現在、第2期工事に向けて費用対効果の検討や住民アンケート等を行っておりますが、莫大な費用のかかる事業であるので十分な議論を交わす必要があると考えています。

防災マイクが漁村センター内であって、外から使えない。(神島)

⇒ 【総務課】漁村センター内にあるマイクは、町内会のもので、市が設置したものではありません。

事業をするのに議員頼みの状況が強い。→町内会要望で行くべき。

⇒ 【総務課】町内会要望を優先します。

「市職員採用」は鳥羽市在住者で(職員は鳥羽市へ在住すべし)。

⇒ 【総務課】現在は募集時の住所を問わずに、採用時には本市に在住することを条件に採用しています。

「パールビル」をどうにかならないのか→「ゴミだらけ!」「見苦しい」。

⇒ 【建設課】パールビルは区分所有の個人の共有名義の建物であるので難しいところですが、佐田浜周辺のまちづくりの中で検討していきます。

⇒ 【企画財政課】佐田浜港の活性化、まちづくりの方面から検討してまいります。

水産試験場の後継者を。

⇒ 【農水商工課】現在、勤務している職員が後2年で定年退職を迎えるため、今後も研究職も含めた採用について検討していきます。

(旧)小浜小学校を「コミュニティセンター」にしてほしい。

⇒ 【教育委員会】現在は、教育支援センターと学校事務の共同実施の拠点として使用しており、また、貸出可能な各教室については地域や各種団体に貸し出しを行っております。現在の使用方法を踏まえ、具体的な管理体制・方法等が確定次第、コミュニティセンターのような方向性で進めていくように考えています。

「釣り客」のゴミ・トイレに困っている→「公衆トイレの設置を」。

- ⇒ 【観光課】 バリアフリー対応の歩行者空間整備や、遊歩道整備とあわせて、快適に歩く旅を楽しむことができるように、市全体の計画的なトイレ整備に取り組んでおりますので、ご理解ご協力をお願い致します。
- ⇒ 【環境課】 釣り客に限らず市内全域でポイ捨てごみの対応については苦慮しております。鳥羽市はご存知のように観光客が多く訪れることから、平成18年から環境パトロールによるポイ捨てごみの回収と不法投棄の監視を行っております。釣り客についても海岸のパトロールを強化します。

鳥羽市の「農業特産物」をつくれ。

- ⇒ 【観光課】 ヤマトタチバナを活用した特産品開発など従来の取り組みを評価しながら、更に鳥羽ブランドとなるような特産品や郷土料理の開発に取り組めます。
- ⇒ 【農水商工課】 従来より加茂牛、国崎キンコ、鳥羽ミカンなどを特産物として促進に努めており、今年、ヤマトタチバナの実を農商連携事業の一環として、お菓子に出来ないか研究を進めています。また、マコモや堅神菜についても、特産品に出来ないか生産者と協議を重ねています。

二見の「ぞみん」のようなファーマーズ・マーケットを。

- ⇒ 【建設課】 平成23年3月にマリナーミナルの完成が予定されており、その周辺で市民や観光客が利用できる農産物、水産物販売のマーケットを検討していきます。

「脳ドック」等の定員の拡充を。

- ⇒ 【市民課】 脳ドックについては、現在伊勢総合病院及び山田赤十字病院の定員の半数以上を鳥羽市の国民健康保険の被保険者で占めており、これ以上の増員はあまり望めませんが、少しでも鳥羽市の国保枠を増やしてもらうよう努力していきます。

「介護家族」にもっと手厚い支援を。

- ⇒ 【健康福祉課】 介護を必要とする方がご自宅での生活を継続していく支援として、介護用品の支給（要介護度2・3／月額3,000円、要介護度4・5／月額6,000円）・家族介護慰労金の支給・家族介護手当（要介護度2・3／月額2,000円、要介護度4・5／月額4,000円）の支給等を行ない、経済的負担の軽減を図っています。また、介護者の支援として、家族介護教室や介護者の会を開催、福祉サービスの提供など身体的な負担の軽減を図っています。国政の状況は未だ不安定な要素を含んでいますが、市としては、社会保障の一環としてこれらの施策の継続及び充実を図っていききたい。

市議会に対する意見と回答

「議会報告会&意見交換会」はいいことだ。回数を多く、小さく各地でやってほしい。など。

- ⇒ 【市議会】 今後の開催については、市民の皆様のご要望に応えるべく、年2回程度を目途に取り組んでいきたいと考えています。

議員定数は削減した方がよい（意見多数）。議員が少ないとチェックができない。増員すべき。

- ⇒ 【市議会】 議員定数については、次期改選に向けて検討をしている最中です。

ケーブルテレビでの「議会放映」について、「放映時間帯」、「映し方」など工夫してほしい。

- ⇒ 【市議会】 分かりやすく、観やすい放映になるよう改善をしていきたいと考えています。

この議会で審議した案件と結果

議案番号	件名	結果
議案第81号	平成21年度鳥羽市一般会計補正予算(第6号)	可決
議案第82号	平成21年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第83号	平成21年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第84号	平成21年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第85号	平成21年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第86号	平成21年度鳥羽市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第87号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部改正について	可決
議案第88号	鳥羽市市税条例の一部改正について	可決
議案第89号	鳥羽志勢広域連合規約の変更に関する協議について	可決
議案第90号	工事請負契約の締結について(和具(答志) 漁港漁村再生交付金事業(-2m物揚場) 工事)	可決
議案第91号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
請願第5号	離島架橋の早期実現に関する請願	採択

編集後記

市議会だより第130号をお届けします。本号も、12月定例会で

の一般質問・議案質疑の内容を中心に掲載しています。特に今回は、一般質問が5人、議案質疑が3人と少人数であったという点ではありませんが、昨年10月に初めての試みとして「議会報告会&意見交換会」ということで議員全員で約1カ月かけて市内18カ所の地区を回らせていただきました。

かという観点でも、目を通していただければ幸いです。なお、市民の皆様にご覧いただけます。

「とば市議会だより」編集委員会
委員長 山本 泰秋
副委員長 戸上 幸子
委員 松井 一弥
委員 木下 爲一
委員 坂倉 広子
委員 木下 順一
委員 竹内 久
委員 中村欣一郎

◎鳥羽市議会事務局
電話 (25)1206
FAX(25)1215

「とば市議会だより」

編集委員会

委員長 山本 泰秋

副委員長 戸上 幸子

委員 松井 一弥

委員 木下 爲一

委員 坂倉 広子

委員 木下 順一

委員 竹内 久

委員 中村欣一郎

